参考資料１

**今後取組みが必要な課題**

○　検体採取を行う医療機関等の確保

（二次医療圏域ごとに5から10機関(最小5機関、最大12機関)）

○　帰国者・接触者外来の拡充及び感染まん延期における一般医療機関の診療体制確保

○　感染拡大に備えた病床確保

（コロナ専用ICUの拡大、透析患者や妊産婦等のための病床確保を含む）

○　医療従事者の確保・配置（非稼働病床の活用に対する人材確保等）

○　人工呼吸器等の医療機器確保（府域約1,000台）

○　疑似症患者（検査結果待ち）の受入病床確保

○　自宅療養者へのフォローアップ体制、体調急変時の医療体制の確保